

♂TS miko wants to resist! ♀

TS巫女さんは 抗いたい!



昔々の
そのまた昔

ヒトが創造主たる
数多の神様に逆らい
自由を手にしようと
していた時代

神殺しの異名を持つ
一人の男が
最後の神殺しを
為そうとしていました



こんにちは
待っていたよ



言葉は必要ない

お前を殺せれば
それでいい



物騒だなあ
もう



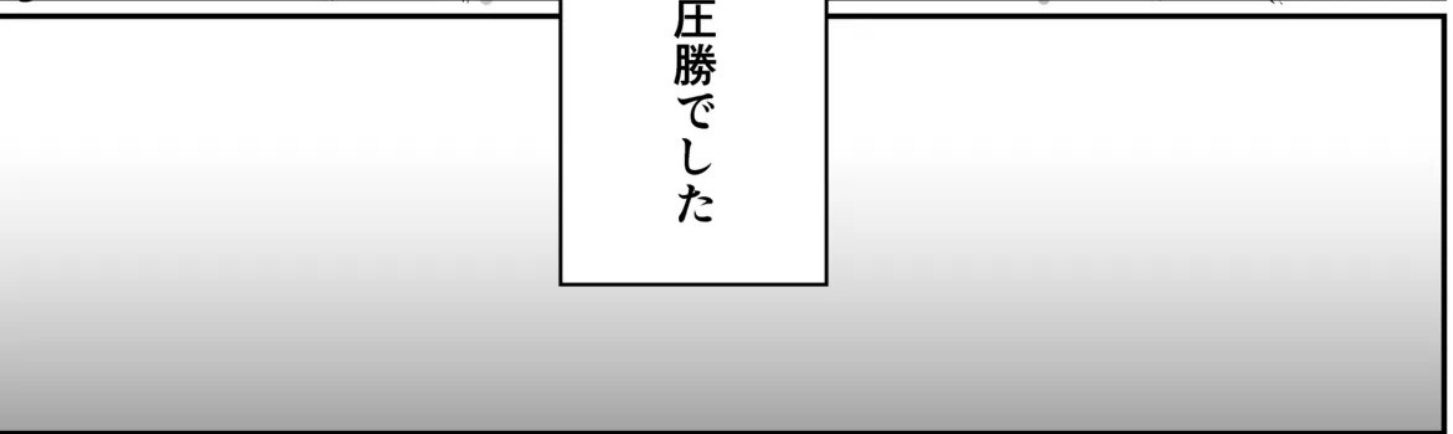


ヒトと神様の
最後の戦いは

やっぱり
人間ってフミギ



神様の圧勝でした





ん

あれ……
俺生きて——

……

なんだこれ

君は今日から
ボクの巫女です

おい
どういう状況だ
これは



興味があつてさ

は？



創造主と創造物
絶対不利な戦いに
君は何年も
勝ち続けてきた

そんな男を
無力な存在に
作り変えたら

勝者であるボクの
巫女として置いたら
一体どうなるのか



というわけで
ボクと契約しよう

断る
元に戻せ



どうして？

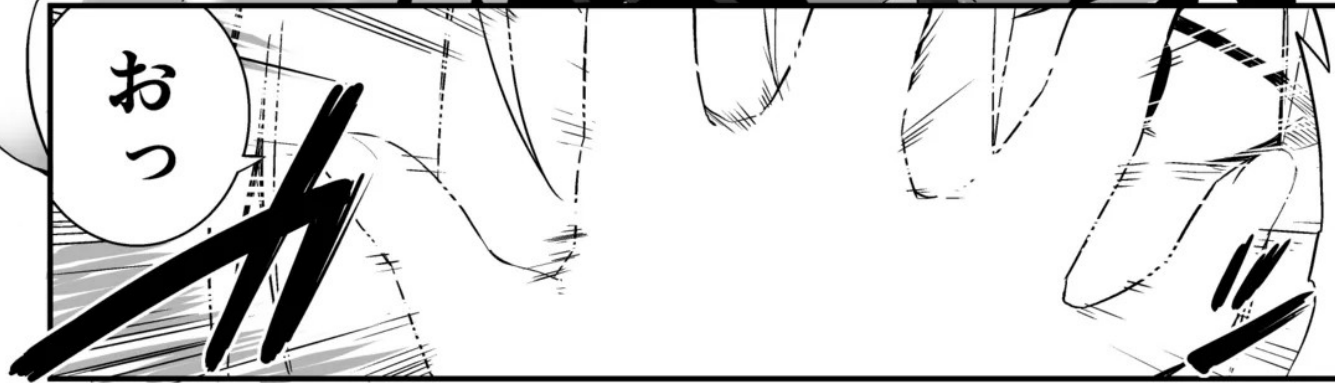


気に入るように
君の好みの姿
にしたんだけど



ふざけるな!!!

おっ



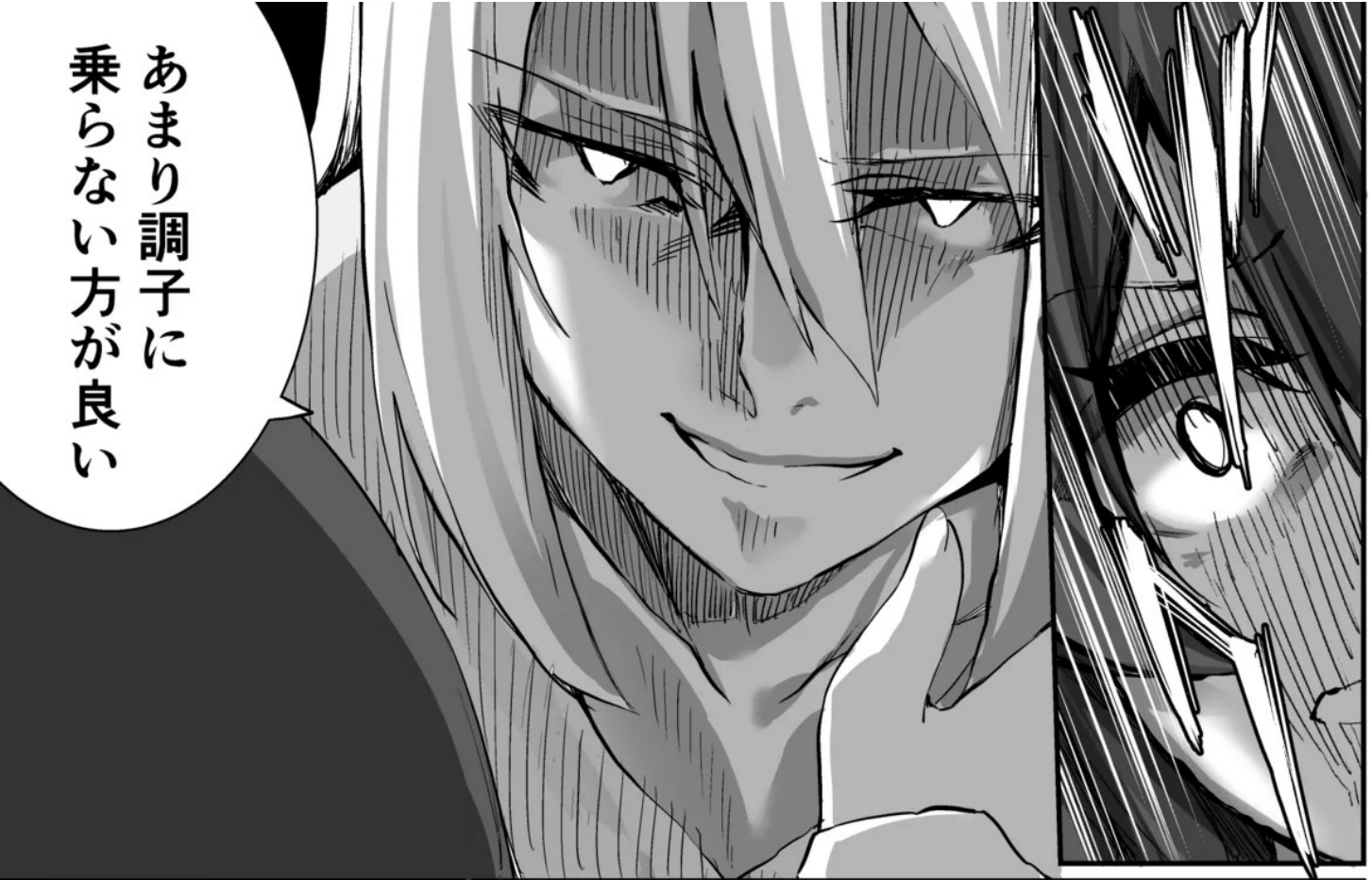
!?

魔法が…発動しない!?

カッ
し

言っておくけど
君は今
ボクの管理下だ





あまり調子に
乗らない方が良く



身体が動かない
……恐怖……
している……っ!?

ガク

ガク

ガク



なんだこの
プレッシャーは
……



ダメだ……

正面からでは
勝てない……!!

その夜

っ……
重い……！

いつもなら
片手で振り回せる
というのに……

ズル

ズル

だがそれでも
油断しきっている
今なら

クソ…今になって
この剣でないと
殺せないのが
忌まわしい……ッ

まだ殺れる
チャンスは

すー

すー



少し趣向を
凝らしてみよう

元の君の生殖器を
ベースにして
つけてみた

!?

は
!?

これから
ボクを襲う度に
『お仕置き』と称して
交尾をしようと思う

模造品だから妊娠はしないよ

ふざけるな!!!
俺は

おい!

男だった君が
女としての交尾で
どう変わるのか

やめろ

やめろ...

興味がある!!!



貴様っ……!

クソっ……!!
抵抗できない
からって好き勝手
しゃがって

これが
ヒトの交尾……
何か不思議な感覚

この程度の屈辱で
根を上げてたまるか!
どうにかして抜け出





何だ今の…
頭がビリッて

一瞬
真っ白に……



これ
美味い…!!





は!?

もう射精した
のに...!?



ヤバい
このままじゃ

あたまつ
まつしろにいつ!!

あ



っー！

俺…

ヤバイ
このままじゃ

そう…だ



!!!



ッ
ッ
ッ
ッ

クソ!!
男の俺が
あんな…



この屈辱
忘れんぞ…！



あんな
情けない声で
喘いで……！

む

買出しに出た
街の中で

食事に劍どくの粉を
溶け込ませようと
して



裏をかいて
敢えて正面から
仕掛けてみたり

おっ

恥を捨て
プライドを捨て
こいつを殺る為なら
何でもやった

30
30
30

えっと……

女の身体さえ
利用した



何かをする度
俺は犯された

そして――

翌日

……あれ？

もう夜が更けて
大分経つ……
何で襲って
来ないんだ？

部屋から
出て来る所も
見てないな

いつもなら
とっくに全部
終わっている
時間なのに

キィ……

おや
いない

どこだろう
呼んでみる？

そういえば
名前知らないな



4
3
2
1
0



ねえ

ス...



ここに
居たんだ

ねえ
今日は何で
襲って来な
かったんだい？



触
る
な
ッ
!!!





頼む…

これ以上
俺を壊さないで
くれ……っ



俺を無力な体
に作り変えたら
どうなるのか
が見たい……っ



壊す？
ボクが君を？

とぼけるな…!!
最初に言っ
た
だろ……



お前を殺して人々を
神の支配から開放
したいハズなのに

お前と居る事が
苦じゃなくなっ
て段々手を抜い
ていく
自分が



…怖いんだよ

変わっていく
自分が……

今だって
こうしてるだけで
おかしくなりそうだ

俺はいつたい
どうしたらいい!?

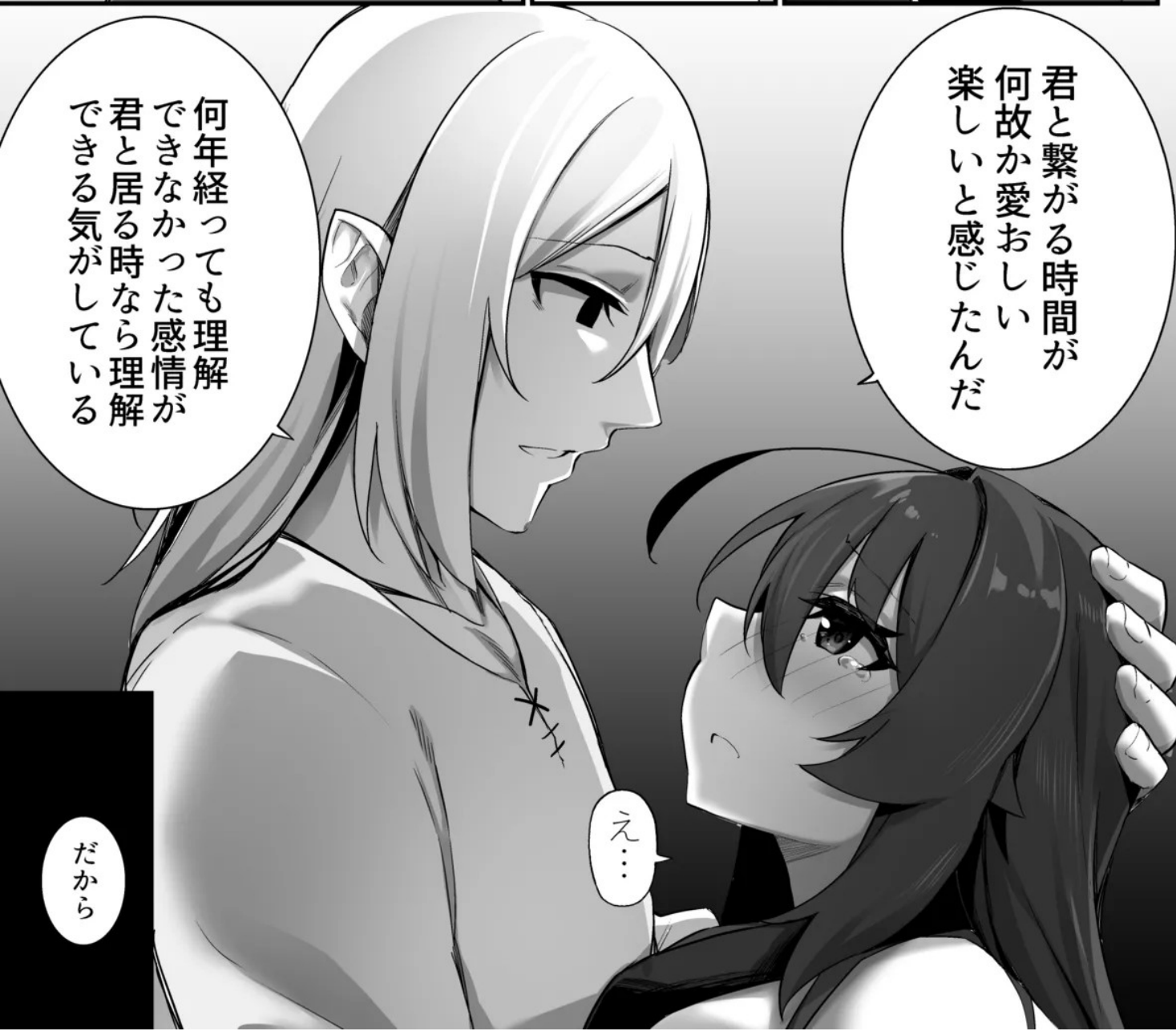
なあ……!

ボクもだよ

……え

ボクはずっと
ヒトの感情が
知りたかった
だからヒトの姿で
その生活を真似
してみた

でも何も変わらない
分らないまま
何百年も経って
気が付けば他の神々は
君達に滅ぼされていた



ボクという神は
ヒトの身に堕ちよう

思えば
簡単な事だったんだ
ヒトを理解したいなら
ヒトになればいい

は!?

お前何言って!
それって

ボクが神じゃ
なくなれば
君がボクを殺す
理由もなくなる

ボクはもつと
理解したい

君と一緒にいたい

君という存在を
失いたくない

だからお願いだ

これからもボクと
一緒にいて欲しい

いや……

トキ

あ……

え……

…君を絶対に
後悔させない

えっ

いや

『これから』の
君の隣にいさせて
ください

あの、

あ、

はっ

あああ

はいっ…

あああ



……ねえ

なっ
なんだよ

積極的なのは
嬉しいけど
生でいいの…？

ボク人になったから
生殖機能もちやんと
あるよ？

うおッ！

うおッ！！
むぎゅっ

うおッ！！

散々好き勝手
やったくせに！

何を今更
気を遣う風なっ

ああ…なんか
悔しいなあ

お前の所為で
俺は！

俺は

身体がこいつを
求めているのが
解ってしまう

俺はっ…

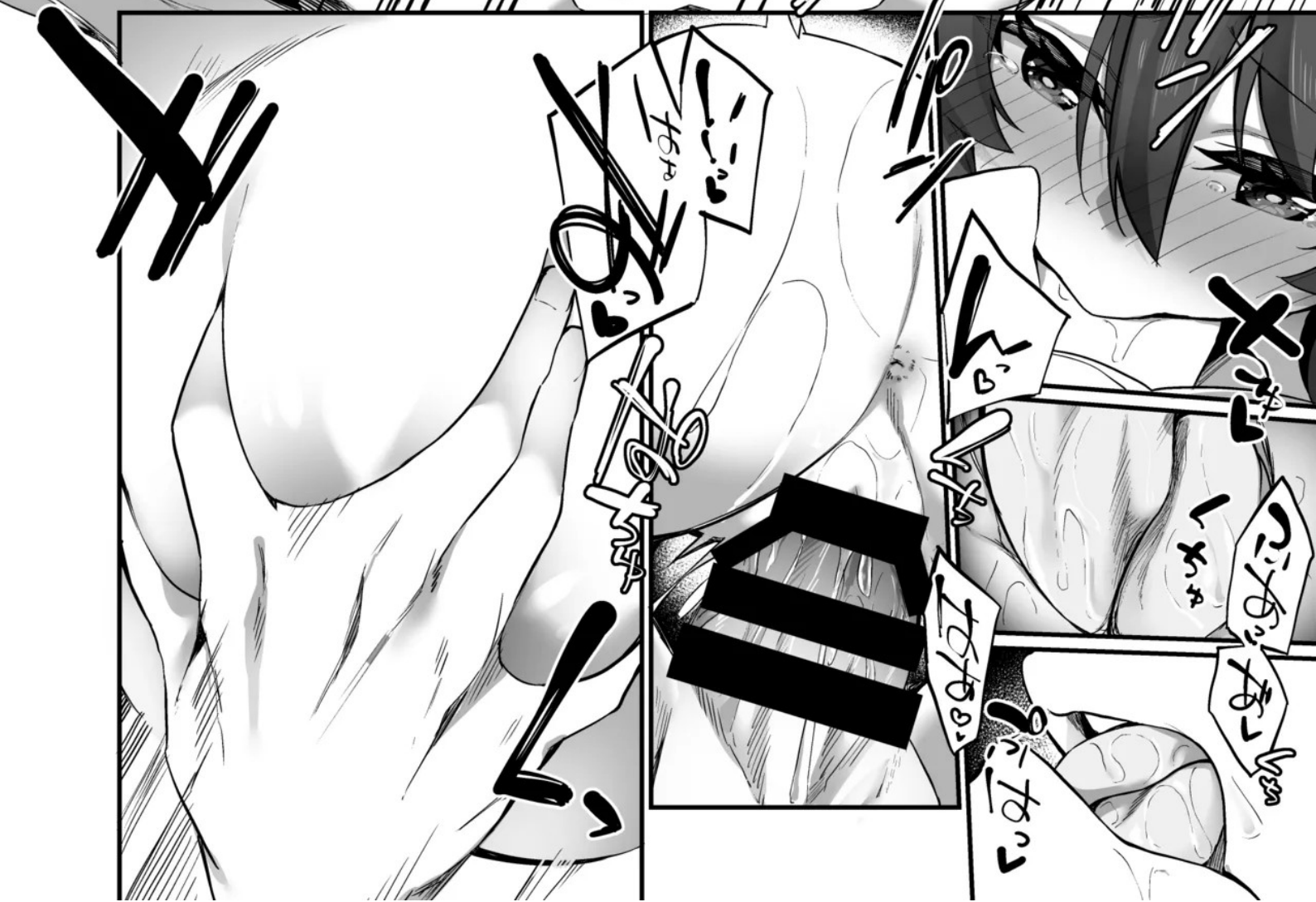
膣内締まって…
離したくない
もつと欲しいって
……





後悔させない

絶対幸せにする





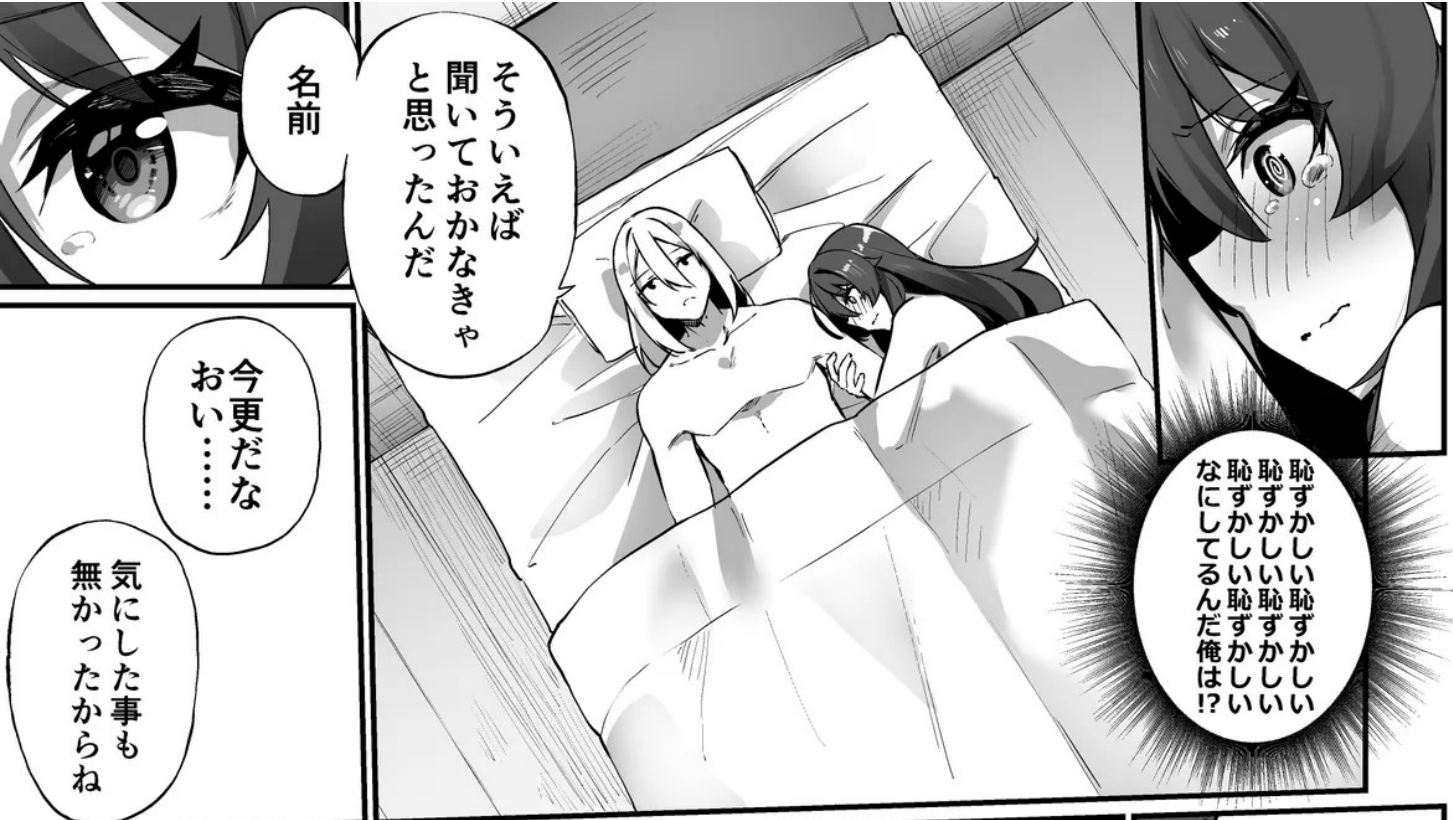
だから
膛内に精すよ!





ドン

ドン



恥ずかしい恥ずかしい
恥ずかしい恥ずかしい
恥ずかしい恥ずかしい
なにしてるんだ俺は!?

そういうえば
聞いておかなきゃ
と思ったんだ

名前

今更だな
おい……

気にした事も
無かったからね



でも今は違う
君の名前が
知りたい
だから……

ないよ

え?

俺はあの時
お前に負けて
死んだんだ
だから……



だから

私の名前は
貴方に付けて
ほしい

……そっか

昔々の
そのまた昔

本当に荷物
何も無いんだ

必要なかった
からね
この家も勝手に
住み着いたような
ものだし

これは
神殺しの英雄が
最後の神を撃つ
物語

だからそれも
これから沢山
増やしていこう

?

それじゃ
行こうか

最後の神が
己をヒトの身に
堕としたことで

メイ

うん

人々は神の呪縛
から解き放たれ
たのでした
めでたしめでたし

